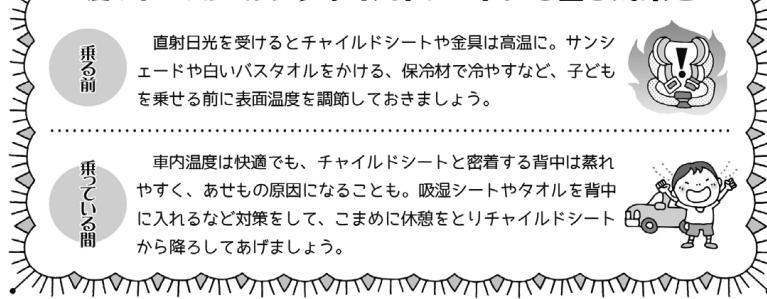


太陽の子保育園 2021年8月号

暑い、暑い夏がやってきました！晴れ渡る青空の下、セミの声に負けないくらい元気いっぱいの子どもたち！汗をかきながらも元気に動き回って遊んでいます♪たくさん遊んで、いっぱい食べて、そしてしっかりと休息。身体の変化に気を付けつつ、暑い夏を元気に過ごしていきたいと思います!!

### 夏の車でのおでかけ チャイルドシートにも暑さ対策を



気温の上昇とともに蚊が出現する季節になりました。保育園ではレモングラスのアロマ虫よけスプレーを作り、戸外遊び前にスプレーをしています。蚊にさされないように予防することが肝心です。

虫刺されには、市販のかゆみ止め「ムヒS」を使用しています。肌が荒れるなど使用を希望しない方は、担任にお伝えください。



### 遅らせないで！子どもの予防接種

予防接種は、お子さまの成長のために必要な時期に受けましょう。

特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になる危険性が高まります。

お子さまの健康が気になるときだからこそ、予防接種は、遅らせず、予定どおり受けましょう。



### ボタン電池の誤飲に気をつけて！

#### どんな危険があるの？

電池を飲み込んだ際、消化管に接触した電池から電流が流れる

↓  
電気分解により電池の外側にアルカリ性の液体が作られる

↓  
短時間で消化管の壁に損傷が起こる。

早く取り出さなければ、消化管に潰瘍ができたり、穴が開くなどの恐れがある。

◆電池を使用している器具の電池ボックスのフタやネジはしっかりとめる。

◆電池が簡単にはずれる器具を子どもに触らせない。

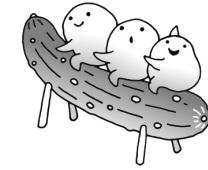
◆電池交換は子どものいないところで行う。

◆使用済みの電池は、+極と-極にテープを貼る。

◆2歳を過ぎたら、ボタン電池が危険なもので、口や鼻に入れてはいけないことを教える。



## プールについて



プール遊びは、全身で水の感触を楽しめ、気持ちを解放出来ます。

水の刺激で温度に対する抵抗力をつけ、皮膚を丈夫にし、自律神経の働きを活発にします。また、血液循环をよくし、心臓や肺の機能を高めるなど丈夫な身体を作ります。

一方で、プール遊泳は、水の抵抗により体力を消耗します。また、体が冷えることから、体温を維持するためにエネルギーを使うので、免疫力が低下した状態となります。体調の悪いときは、プールを見合わせることも大切です。

保健所でプールに入る基準を作っています。保育園でも、その基準に準じています。

### とびひ

感染経路は、接触感染であり、プールの水を介しては感染しません。ただし、病変部が水でふやけて搔き壊しがとんだり、接触してうつることがあります。また、水中で皮膚がふやけることは、とびひの悪化につながるため、とびひのある園児はプールは入れません。



### 水いぼ

感染経路は接触感染です。プール水ではうつりません。プールには病変部をガーゼや絆創膏などで覆ってください。水いぼの数が多く、覆いきれないときは、シャツやスパンをはいて入ります。

### 腸管出血性大腸菌感染症

感染経路は経口感染です。下痢をしている者は、罹患の可能性があるため、プールには入れません。

### あたまじらみ

治療を始めればプールに入れます。